

【特別掲載】平成29年冬季賞与の支給状況(事業所規模30人以上)

この調査結果は、平成29年11月から平成30年1月の「特別給与」のうち、賞与として支給された給与を抜き出して特別に集計したものである。

(1) 概要

調査産業計の一人平均賞与支給額は431,676円で、前年に比べると0.2%の増加であった。平均支給月数は1.25か月分、支給事業所数比率は94.2%、支給労働者数比率は95.9%であった。

(2) 産業別支給状況

産業別の賞与支給状況を見ると、「電気・ガス業」(779,964円)を最高に、以下、「情報通信業」(776,463円)、「教育・学習支援業」(745,600円)、「学術研究等」(742,505円)と続いている。

《産業別1人平均賞与支給額等の状況》

産業	支給労働者 一人平均支給額	前年比	平均 支給月数	支給事業 所数比率	支給労働 者数比率
	円	%	か月分	%	%
調査産業計	431,676	0.2	1.25	94.2	95.9
建設業	592,126	14.3	1.05	100.0	100.0
製造業	531,222	2.9	1.47	89.7	95.6
電気・ガス業	779,964	2.1	1.95	100.0	100.0
情報通信業	776,463	△ 8.3	1.84	80.3	90.3
運輸業、郵便業	378,260	△ 7.2	1.25	98.6	98.8
卸売業、小売業	160,546	△ 3.8	0.80	90.9	95.1
金融業、保険業	579,785	2.3	1.82	100.0	100.0
学術研究等	742,505	6.3	1.90	100.0	100.0
飲食サービス業等	66,501	6.9	0.44	89.3	86.3
生活関連サービス等	103,715	10.8	0.85	99.4	97.8
教育、学習支援業	745,600	△ 3.5	2.00	100.0	100.0
医療、福祉	422,798	0.0	1.35	100.0	100.0
複合サービス事業	395,178	1.2	1.50	100.0	100.0
サービス業	168,474	10.2	0.90	87.8	83.9

- (注) 1 「支給労働者一人平均支給額」とは、賞与を支給した事業所の全常用労働者一人平均支給額である。
- 2 「平均支給月数」とは、賞与を支給した事業所における賞与の所定内給与に対する割合を単純平均したものである。
- 3 「支給事業所数比率」とは、賞与を支給した事業所の全事業所に占める割合である。
- 4 「支給労働者数比率」とは、賞与を支給した事業所における全常用労働者の全事業所における全常用労働者に占める割合である。
- 5 「事業所規模30人以上」とは、平成30年1月に実施された抽出替え前の事業所である。